

日本小児心身医学会
学会員・関係者各位

第ああ回日本〇〇心身医学会学術集会
プログラム・抄録集のご送付

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、9月7日(金)より9日(日)までの3日間開催いたします第ああ回日本〇〇心身医学会学術集会のプログラム・抄録集が完成いたしましたので、ここにお送りいたします。

本会のテーマは「子どもの心身症は予防できるか～周産期からの支援を通して～」といたしました。このメインテーマシンポジウムをはじめ、周産期を通した母子のケアの一般演題も多数集まり、豊かな討論ができそうです。

今回はああ回記念大会でもあり、杉山登志郎先生の過去から未来にわたる特別講演や、学会のそれこそ温故知新、過去を振り返り学びながらこれからの学会と私たちの姿をさぐっていく記念シンポジウム、私の身近な存在ではありますが、金子先生と竹内先生には今ホットな脳や体の話を、公開研修会では名市大小児科の心理発達グループの仲間による発達障害の支援のお話を聞かせていただけます。

一般演題もどれもこれも光り輝いていてとても素敵です。ぜひ、名古屋の地にお集まりいただき、縁ある時間をお過ごしくくださいますようお願いいたします。

それと最後になりますが、カンパやご協賛をいただき、広告を載せていただいた各先生方、各企業・個人の方々に感謝いたしております。本当にありがとうございます。

平成 99 年 7 月 末 日

第ああ回日本〇〇心身医学会学術集会
大会長 〇〇 〇〇
(〇〇〇〇病院小児科)